

「国際フェアトレード憲章」 におけるフェアトレードの定義

「フェアトレードとは、より公正な国際貿易の実現を目指す、対話・透明性・敬意の精神に根ざした貿易パートナーシップのことを言う。フェアトレードは、とりわけ南(途上国)の弱い立場に置かれた生産者や労働者の人々の権利を守り、彼らにより良い取引条件を提供することによって、持続的な発展に寄与するものである。」

The International Fair Trade Charter, Sep. 2018より。

グローバル化の進展とサプライチェーンの複雑化

→ 商品情報の正確な把握が困難に

フェアトレードの目的：生産者と消費者を近づける

生産者への配慮：労働条件、報酬など

商品情報の把握：環境への影響や安全性

→ 適正価格での購入



*Justice, equity
and sustainable development*
この3つが、
貿易の仕組みの中心になるべき！



・6つの大学のゼミが参画し、フェアトレード商品を企画・生産・販売するスバストラジャパン社と、フェアトレード認証機関であるフェアトレード・ラベル・ジャパンとの協働により、フェアトレードを学問(学生)目線とビジネス目線の双方から考え、フェアトレードの認知度、ビジネスの拡大推進を図る。

・学生は、インド産のフェアトレード認証コットン製品を... コンセプト立案→企画→生産→販促→販売→カスタマーケア...と、ビジネスにおける実際のフローを体感しながら、商品とその背後にある価値観を発信してゆく。

・Z世代の学生が、企業のCSR活動には留まらない企業活動に参画し、それを通じてこれまでにない社会関係資本を生み出し、そのプラットフォームを活用して様々な異業種とのコラボレーションを実現を目指す。学生同士あるいは学生と企業が刺激し合いつつ、持続可能な開発目標（SDGs）について理念のみならず具体的な実践活動を実施していく。

* 佐野竜平「大学ゼミを超えたフェアトレード企画」

『大学時報』(No.414, 2024年1月)も参照のこと。

<https://daigakujihou.shidaiaren.or.jp/list/contents/?jihou=414>



生活の必需品、Cotton

日本における2023年の衣類の輸入浸透率は98.5%

日本では、身につけている衣類は圧倒的に輸入品が多い

* 輸入浸透率：輸入量 ÷ (生産量 + 輸入量 - 輸出量) × 100

→ 衣類以外にも、安価なCottonは様々な消費財に使用されており、我々の生活を支えている。

→ 綿花は世界約80カ国で生産されているが、主要な産地は、インド、中国、米国、ブラジル、パキスタン、オーストラリア、トルコ、ウズベキスタンなど(以上で9割)

↔ 補助金を得られない国の綿花農家はぎりぎりの生活を余儀なくされる

農業は天候や害虫などの自然の影響を受けやすく、価格も不安定である

→ インドやパキスタンでは、比較的小規模経営の家族農家が多く、なかには生産のために高利の借金を余儀なくされたり、子どもの労働力に頼らざるを得ない農家もある。中国・新疆ウイグルの児童強制労働が4万～100万人とも推計されている。

Bureau of International Labor Affairs, US Department of Labor, 2024 List of Goods Produced by Child Labor or Forced Labor, Sep. 2024.

1kgの綿花生産に 2,000リットル近くの水が必要！

綿花生産には大量の水も必要(しかも、水リスクの高い地域での生産が多い)



綿花栽培と環境・人間汚染のリスク

○世界の耕作地面積の約2.5%に過ぎない綿花の栽培面積で、世界で使用される殺虫剤の約16%、農薬使用量の6%以上を使用。(WWFジャパン, 2021)

○農薬は害虫駆除, 雑草の管理, 防カビや殺菌消毒, 収穫前の落葉剤などで, 国ごとに規制があるが, 先進国では使用禁止の農薬が途上国では使用されるケースも。

○過剰な化学肥料が土壌に残ると地下水の汚染, 土壌微生物の消滅などで作物を育てる土壌の力が減少する。土壌のバランスが崩れると, 病気や害虫の被害が広がり, 農薬を多用する必要性が生じる。

○農薬は環境汚染だけでなく生産者の健康被害リスクを引き起こす。

○綿花生産は児童労働の温床の1つであり, インドだけで児童労働数は40~45万人(2022年)に達する。

WWFジャパン「コットンって環境に悪い？
サステナブルファッション視点でのコットン
の生産と利用」2021年3月21日。

Bureau of International Labor Affairs, US Department of Labor, 2024
List of Goods Produced by Child Labor or Forced Labor, Sep. 2024.



児童労働・強制労働が
行われている製品と国家数



☆フェアトレード・ Cottonの意義

○国際フェアトレード認証 Cotton ラベルは、製品が国際フェアトレード基準を守って生産および取引された Cotton で作られていることを示しており、生産のすべての段階で物理的なトレーサが可能であり、加工中に非フェアトレード認証 Cotton と混合されることはありません。

○ Cotton 以外の繊維を含む混合繊維製品の場合、製品重量の50%以上(注1)が Cotton からなり、かつ製品に使用されるすべての Cotton が認証 Cotton である場合、この認証ラベルを使用することができます。(注1)ユニフォーム、ワークウェアに限り30%以上 出所:フェアトレード ジャパンのHPより

2025年5月のフェアトレード月間には、コバゼミ生が企画・デザインした製品を駿河台キャンパスで販売予定！



生産会社はスバストラ・インディア



☆2024年度 その他のおもな活動

TOKYOエシカル・マーケット および TOKYOエシカル・カンファレンスへの参加



右の写真は TOKYOエシカルのウェブサイトより。
サイトでは当日の様子もご覧頂けます。

<https://www.ethical-action.tokyo/articles/4287/>

なお、カンファレンスの動画も配信されています。

<https://tokyodouga.metro.tokyo.lg.jp/muzxbnewh6a.html>

学内でのフェアトレード製品販売(FT月間 in AC、HCデー、明大祭など)



なお、明大祭の様子も TOKYOエシカルのウェブサイトでご紹介頂いています。 <https://www.ethical-action.tokyo/news/4247/>

